

国立市立国立第四小学校 令和6年度 第6学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」の結果から、情報の扱い方に関する事項が全国平均・東京都平均よりも下回る結果であり、課題がある児童が2割程度いる。(①) ・話し合いの進め方は定着したが、自分の意見を相手に分かりやすく伝えることが苦手な児童が約3割いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業だけでなく、他の教科でもグラフなどのデータを扱う機会を増やし、情報を整理し、分析する力を身に付けさせる。 ・「話す・聞く」の単元以外でも、自分の意見をもてるような声掛けをすることで、自信をもって話し合い活動に参加できるように指導する。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
社会	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや図の読み取りが身に付いていない児童が2割程度いる。(①) ・読み取った内容を比較・考察することが苦手な児童が2割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビに資料集のグラフや図を提示しながら読み取り練習をさせることで、グラフや図の読み取りに慣れさせる。 ・読み取った情報を、一人1台端末を使い全体共有し、比較考察させる時間を増やす。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」の結果から、「数と計算」に関する事項が全国・東京都平均よりも下回り、苦手とする児童が3割程度いる。(①) ・文章題など学習したことを適応させて問題を解くことが苦手な児童が3割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の方法が分かっていないより、計算のミスをしている児童が多いと考えられるため、授業の演習の時間では計算の過程を振り返る機会を増やす。 ・問題を解くだけでなく、既習事項をどのように活用するのか説明する時間を授業の中で設ける機会を増やす。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
理科	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果から、分かったことや考えたことを多面的に考察することが苦手な児童が2割程度いる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・考察を書く視点を明確にしたり、話型を使った指導をしたりすることで、段階的に書けるようになるよう指導していく。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・音符を見て、音の長さやリズムを判断することが苦手な児童が2割程度いる。(①) ・演奏中に創意工夫ができない児童が2割程度いる。(②・③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音符を見ながらリズム打ちする学習を取り入れ、親しみをもたせる。 ・思いを生かして表現するために、児童が曲想及び強弱などの音楽的な特徴に気付くことができるよう指導を行う。教師が模範演奏をする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉の指導では内容が理解できず、活動が遅れてしまったり、個別の声掛けがないと活動が続けられなかったりする児童が1割程度いる。(③) ・絵具や木工用具などの技能の習得に個人差が大きい。声をかけたり、手を貸したりする必要がある児童が1割程度いる。(①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体指導した後に、個別の指導を行い、聞き漏らしや進度の遅れがないように指導する。 ・人数が多いので、危険を伴う用具などを用いる場合は、担任の先生やSSの先生方にも見てもらい、安全に楽しく活動できるようにする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
家庭科	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫の「玉止め」、「玉結び」等の技能が習得できていない児童が約2割程度いる。(①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差に対応できるよう、デジタル教材を用いて、視覚的にも技能を習得できるような環境を整えたり、放課後などに練習する時間を設けたりする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習の学び方が身に付いていない児童が2割程度いる。(②) ・「体力テスト」の結果から、体力の二極化が見られる。(①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルで考えることができるよう、学習カードの書き方を丁寧に指導していくと共に、定着が見られない児童には個別指導を通して定着を図る。 ・体育の内容や様々な遊びを紹介することで、外遊びを促し、運動の習慣化を図る。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
外国語	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差があり、外国語が難しいと感じている児童が2割程度いる。(③) ・書くことを苦手としている児童が2割程度いる。(①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要表現を黒板に掲示しながら、歌やゲーム等を通して英語に慣れ親しんだり、ALTと繰り返し練習してコミュニケーション能力を高めたりする。 ・単元ごとに書く活動の時間を十分設け、外国語を書くことについて定着を図る。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		